



こんにちは、岡田よしひでです

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

2020年8月2日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.46

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527



新足摺海洋館 SATOUMI (土佐清水市三崎=7月18日)

県議会6月定例会 新型コロナで国保料減免

新型コロナウイルスによる国保料の減免制度について、最も収入の低い1カ月の収入を基準とする、見込み違いになっても返金を求めない、国が財政に責任を持つ事業であることを、市町村に徹底しているか聞きました。

健康政策部長は、「保険料の減免については、まず、5月1日に国から示された、減免に要する費用の全額を国が財政支援する際の基準を市町村に通知し、基準に沿った減免であれば、費用の全額を国が財政支援することを周知いたしました。また、その後5月11日

には、国から、財政支援の基準等の取り扱いに関するQ&Aが示されましたので、これも、市町村に周知しております。その際には、お話にありました「最も収入の低い1カ月の収入を基準としている他の市町村での取り扱い例」や「見込み違いとなっても返金を求めないことを厚生労働省保険局長が答弁した厚生労働委員会での発言概要」などについても、あわせて情報提供をしているところです。引き続き、各市町村には情報提供をしっかりと行うとともに、対象となる方が漏れることがないよう、速やかに保険料減免に係る申請受付や決定を行うことができるよう、市町村からの問い合わせに丁寧に対応することを通じて市町村を支援してまいります。」と答えました。

県政懇談会 ひろく

地元の浜改田公民館で7月23日、初めての県政懇談会を開きました。濱田県政と新型コロナ対策、南国市に関わる施策について報告し、ご意見ご要望を聞かせていただきました。杉本すじめ市議が市政報告しました。

おむすび通信 (46)

足摺岬に近いホテルから三崎(竜串)の足摺海洋館 SATOUMI の竣工式に向かう途中、中ノ浜にまわって万次郎の生家を見学しました。何年前だったか旧中村市で暮らしていた最後の年に両親を案内して幡多地域をまわった際に立ち寄った時には、畑の中に記念碑が立っているだけでしたが、その後復元されている生家を見たくて寄り道。室内には古いかまどと沢山の生活用具がありました。常駐の管理人はおらず「万次郎戸じまりしとけや母より」の札が立てかけてありました。天保3年(1832)1月、土佐市の宇佐浦から5人で漁に出て足摺沖で難破した万次郎は嘉永5年(1833)11月に生家に帰り、母親との再会を果たします。一緒に帰国した伝蔵(筆之丞)、五右衛門兄弟は漁を禁じられ一人扶持をもらい宇佐で暮らしました。ふたりの小さなお墓は並んで懐かしい宇佐の海を見下ろしています。



中浜万次郎生家 (7月18日)